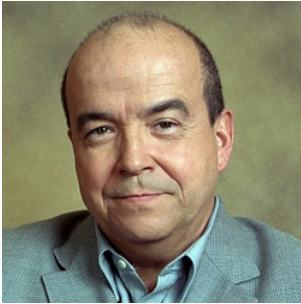


PATRICK BAUDRY

▪ Celebrated French Astronaut, UNESCO Goodwill Ambassador

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Astronaut
- Cities
- Environment
- Leadership
- Motivation
- Science
- Space
- Technology
- Transportation

パトリック・ボドリーは、フランスで最も有名な宇宙飛行士であり、フランス空軍の引退した中佐です。1985年に、彼はNASAのスペースシャトルミッションSTS-51-Gディスカバリーに乗って飛んだときに、ジャン＝ループ・クレティエンの後、宇宙でフランス人の2番目の市民になりました。

ボドリーは1980年にCNESの宇宙飛行士になりました。2年間、彼はCNESとモスクワ近くのスターシティで訓練を受けました。彼はフランス - ソビエトのミッションのバックアップクルーのメンバーであり、生理学、生物学、宇宙での材料加工、そして天文学の分野での科学実験の訓練を受けていました。彼は2000人の候補者の中からInterkosmos - CNES軌道宇宙ミッションに参加するために選ばれました。

1984年に彼はテキサス州ヒューストンのジョンソン宇宙センターに入社しました。1年の訓練の後、彼はミッション51-Eに割り当てられ、次にミッション51-Gに割り当てられました。ミッションの主な目的は、3つの衛星を軌道に投入することでした。ボドリーは、フランスとアメリカの研究所のための科学および医学的プログラムに対する責任を持っていました。

彼の宇宙キャリアのピーク時に、ボドリーはSTS-51Gディスカバリーのパイロットスペシャリストとして飛んだ（1985年6月17-24日）。ディスカバリー号の国際的な乗組員は、メキシコ、アラブ連盟、そしてアメリカのために通信衛星を配備しました。彼らは、17時間のX線天文実験を行ったSPARTAN衛星を配備し、後で回収しました。この飛行を完了する際に、ボドリーは112の地球周回軌道で250万マイルを旅し、宇宙で169時間以上伐採しました。

1986年に彼はAerospatialeCompanyの会長の顧問に任命されました。彼はヨーロッパの宇宙船エルメスのテストパイロットでした。

1993年から2003年まで、ボドリーはEADSの有人宇宙飛行のアドバイザー、およびエアバスのシニアテストパイロットでした。彼は、宇宙での生活のための準備のためにカンヌに最初のヨーロッパ宇宙訓練センターを設立しました。

彼のキャリアの初期には1970年に彼の翼を受け取った戦闘機パイロットでした。彼のキャリアの上で彼は飛行時間4,000時間以上を記録しました - ジェット機で3,300 - そして100種類以上の航空機 - F100、F104、F4、A8、T33、ライトニング、ハリヤー、ハンター、キャンベラ、ジャガー、ミラージュのすべてのタイプ、ミステレ4、ヴォートゥール、その他の航空機。

「空と宇宙を飛ぶことで私は世界観を変えることができました。リスク、食欲と発見、チームスピリット、連帯、生命の保護、そして環境は私がリードする本や講義を通して今日共有する価値です。」

彼はヨーロッパ宇宙飛行士協会などの組織に属しています。航空宇宙アカデミーの特派員。たとえばChevaliers du Tastevin、Jurade de St Emilion、Confrérie du Bontempsなど、いくつかのワインテイスターの出会いのメンバー。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988